

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココロネ板橋		
○保護者評価実施期間	2024年9月24日		2024年10月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 40	(回答者数) 22	
○従業者評価実施期間	2024年10月7日		2024年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数) 15	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族支援として、適時適切にフィードバックを行うことができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主送迎の方は、お迎えの際にフィードバックを実施している。</li> <li>・バス送迎の方も、必要な際はお電話などでお話しするようにしている。</li> <li>・家族懇談会を実施し、施設の取り組みのお知らせと、家族同士のつながりを作るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングなどの家族向けのプログラムの実施を検討していきたい。</li> <li>・家族向けの研修会の実施を検討していきたい。</li> </ul>
2	保育士・児童指導員だけでなく、リハビリ(PT・OT・ST)とともに支援を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTやOTがお子様の支援に、保育士や児童指導員と共に取り組んでいる。</li> <li>・リハビリ職が実施した内容などを、保育士等が活動に生かせるように情報の連携を意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STが10月より介入を始めているため、今後は評価や介入を実施し、コミュニケーション面にも力をいれていく。</li> <li>・お子様がスムーズにリハビリ職の活動を受けられるように時間や内容を調整していく。</li> </ul>
3	クラス内などチームでの検討が適切になされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所の前後でクラスでのミーティングを行い、情報の連携をしている。</li> <li>・事業所全体でも、夕礼等を行い、ヒヤリハットなどの共有・検討を適時実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス送迎で、添乗する職員がいるため、添乗中に実施したミーティングを共有できるようにしていきたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援プログラムの公表が未達成	令和6年度中に公表するために準備しているが、皆様に分かりやすくなるように内容の検討を実施しているため、公表が遅れている。	支援内容について、皆様に分かりやすくなるように、事業所全体で職員も含めて検討していく。
2	地域の保育園・幼稚園との、お子様の交流が実施できていない。	コロナ禍で開所したため、積極的に実施することができおらず、依然として交流を行うことが出来ていない。	次年度に向けて、すでに交流のある保育園と連携し、当施設が園庭に行かせて頂くなどの交流の機会を作っていきたい。
3	マニュアルの整備が不足している。	各種マニュアルが、皆様に分かりやすい形になっていない。	マニュアルについて、見直しを行い、皆さまへ周知していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ココロネ板橋

公表日 2024年 10月 31日

利用児童数

40家庭

回収数

22家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	22					
	2	22				・職員の方が楽しんで頂く事で、子供も楽しく過ごせていると思います。	暖かいお言葉を頂き、誠にありがとうございます。 今後も、皆様に寄り添っていただける体制を整えてまいりたいと思います。
	3	22					
	4	21	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	20	1	1			
	6	19			3		
	7	21		1			
	8	19	1	1	1		
	9	20	1	1			
	10	21				1	
	11	9	3	5	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	21		1			
	13	22					
	14	18	2	1	1		
	15	21	1			・いつも子どもの特性にあった支援方法を一緒に考えてくださったり、丁寧に寄り添った支援をしていただき、親子共に大変お世話になり感謝しております。 ・親にも目を配っていただいたり小さい事でもたくさん褒めてもらえて、とても嬉しいし心遣いに感謝の気持ちでいっぱいです。	お子様ご本人だけでなく、ご家族様にも寄り添った支援が行えますよう尽力してまいります。
	16	22					
	17	22					
	18	14	4	1	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20			2	・SNS等でも楽しそうな様子が伝わってきます。	いつも、ご覧いただき誠にありがとうございます。 今後も、個人情報に配慮させて頂きながら、活動の様子を公開させて頂きたいと思っておりますので、引き続きご覧頂きますと幸いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	4		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				・新たに専門的支援の活動時間も増え、大変ありがたいです。 既にPTとOTでお世話になっていますが、今後STのご指導もお願いしたいです。	リハビリ職員と共に、保育士等のクラス担任がお子様の支援を考え、よりよい支援が行えるよう進めて参ります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ココロネ板橋		公表日 2024年10月31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	3	・3クラスあるため、使用する部屋が重ならないよう配慮している。	・リハ職介入が増えたため部屋が足りなくなると思う。教材室もリハの個別で使用するなど不便になってしまう。 ・クラスの部屋はあるが、活動やリハビリで使いたいと要望があがると現状では少ないと感じる。 ・物を置く場所が乏しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	7		・職員の休憩を1時間はしっかり確保することが難しいことがある。 ・フリーのパート職員などがあと1人いると良いと思います。 ・柔軟にヘルプに入れるフリーの職員が必要。 ・こどもの状況によっては職員の数は足りていないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	4	・活動室は可能な限り情報を少なくし、活動に集中しやすい部屋にしている。	・座位保持椅子やバギーなど、必要な設備や機器を揃えて欲しい ・水道が部屋にあるので、そこを隠すためのしっかりしたものが欲しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	2		・保育用品は子どもの遊びの幅を広げるためにも多くなってしまふ。収納出来る場所を確保したい。 ・冬は床が底冷えして寒い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15			・他クラスや活動と被ると難しい時もある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	7		・保育後にもう少しミーティング時間があるといい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	4		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	4		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	6		・やっているのかが分からない ・外部評価見たことないです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	4	・オンデマンドで研修できるよう整備されており、自分のタイミングで講義を受けることができる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	3	・プログラムまではいかないが、各クラス特性に合わせて活動は考えていると思う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	3		・通所児童で事業所の相談支援を契約している児童もいるが、通所部門と連携がとれていないのか分からない ・作り方を教わっていないので、これで合っているか不安

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	2	・チームで話すように努力している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	2		・職員がお休み等で足りていない日は、思うような支援が実施できないこともある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	6		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	3		・作成の評価をしてもらえると、作成内容があっているのか分かんと思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	3		・クラスごとに作成しているため、毎年職員が変わると作成内容も違ってきている ・バス送迎などもあり全員が揃って話す時間が少ない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	・クラス内で努力はしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	2		・朝のバス送迎があつて難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	4		・記録、活動準備、バス送迎がありがたなか ・時間が足りない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15			・業務時間内に済ませるのが大変
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	2			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1	・子どもの姿を捉える上で、保護者の方の話だけでなく、保護者の方の了解を得て、併用園に直接連絡を取り、子供の姿を知るよう心がけている。 ・保護者の同意を得て、実際に幼稚園や保育園へ見学に行つて情報共有をしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	3	・施設見学に行かせていただいている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	3		
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	7			

	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	2		・公園等で出会った場合、距離をとることはないが、一緒に活動する機会はない
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	7	・日頃から活動の見学を促し、子どもの特性に対する助言等を行っている。	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	1		
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15			
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15			
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	4		
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	1		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	1		
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		・鍵のかかる書庫へしまっており施設外へは出さないようにしている。	
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15			
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5		
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	4		・マニュアルの周知できていないと思う。事務所にあって、現場ですぐ確認できない。
	45	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	2	・毎月一回、避難訓練を実施している。	・避難訓練しているが、本当の緊急時に役立つかは疑問。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15			
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		・医師の指示のもと、アレルギー等には配慮している。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	4		
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	6	・ご家族のメールアドレスを登録してもらい、一斉メール等で、必要な情報を周知できるようにしている。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15			
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1		

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15			
--	---------------------------------------------------------------------------------	----	--	--	--